

教科目名 米文学特論 I (American Literature I)

学科名・学年 : 全専攻1年

単位数など : 選択 2単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 大木正明

授業の概要			
<p>国際人として、あるいは1人の人間として、個人のあり方を小説『ライ麦畑でつかまえて』をとおして改めて深く探る講義である。そのため杓子定規的にもごとを考えがちな発想から離れ、集団の中で個人を尊重するとはどういうことか、また同時に個人という存在が集団の中で如何に生きていけるのか、といった問題を主に取りあげる。英語の勉強は勿論のこと、人間の存在のあり方そのものを、アメリカの文学者、そしてその作品をとおして見つめなおす。</p>			
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1), JABEE 目標(a)	
<p>(1) これまでに学んだ英語の4技能を駆使し、かつ忍耐強い向学心および探究心を育成する。(発表およびレポート)                  (2) 各講義で取り上げられるテーマについて知見を深め、人間存在の深さを理解する。(発表およびレポート)                  (3) 外国語としての英語ではなく、ネイティブが持つ英語感覚、あるいは情感を感じ取る。(発表およびレポート)                  (4) 各回ごとの講義の理解はもちろんのこと、継続的な自学学習の大切さを知る。(発表およびレポート)</p>			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	1. オリエンテーションおよび『ライ麦畑でつかまえて』の著者と登場人物の紹介	○前期計画, 作家 J. D. Salinger, 作品の概要および各登場人物の性格について大まかな把握が出来る。	【理解の度合い】
2	2. I・2章の講読	○物語の舞台となるニューヨーク, および主人公 Holden・家族・学校(制度)についての理解が出来る。	【理解の度合い】
3	2. 3・4章の講読	○アメリカの若者, 学校の寮, 友人関係, ファッションについて理解が出来る。	【理解の度合い】
4	3. 5・6・7章の講読	○小説の「インチキ」・兄弟関係・恋愛感情・修道院についてイメージ出来る。	【理解の度合い】
5	4. 8・9章の講読	○小説の「母親像」・親子関係・白髪・兄・妹・アヒル・酒の意味を理解できる。	【理解の度合い】
6	5. 10・11章の講読	○小説の兄弟関係・酒場・映画(俳優)・女友達・父娘関係について理解が出来る。	【理解の度合い】
7	6. 12・13章の講読	○小説のピアノ弾き・男女関係・盗難・売春婦について理解が出来る。	【理解の度合い】
8	7. 14・15章の講読	○宗教(キリスト教)と真実, および小説の尼僧について大まかな理解が出来る。	【理解の度合い】
9	8. 16・17章の講読	○小説のレコード・「歌」・博物館・サリーとの関係が理解できる。	【理解の度合い】
10	9. 18・19章の講読	○小説中の映画・『偉大なるギャツビー』・パーと精神分析について理解できる。	【理解の度合い】
11	10. 20・21章の講読	○小説の赤い帽子・レコード・弟・妹・兄・自己逃避についての意味が理解できる。	【理解の度合い】
12	11. 22・23章の講読	○小説の「友人の自殺」・歌・アントリーニ先生の描写および意味が理解できる。	【理解の度合い】
13	12. 24章の講読	○ハリウッドおよび小説の「墮落」・「アントリーニ先生との出来事」が理解できる。	【理解の度合い】
14	13. 25章の講読	○小説のグランドセントラル駅・「回転木馬」・「雨」についての意味が理解できる。	【理解の度合い】
15	14. 26章および関連する論文の講読	○小説の総括および紹介された関連論文の内容を理解できる。	【理解の度合い】
履修上の注意			【総合達成度】
毎回レポーターを決め講義の冒頭に発表をしてもらうので、講義の予習・復習は絶対に必要となります。			
教科書			
J. D. Salinger, <i>The Catcher in the Rye</i> , ペンギン・ブック。			
参考図書			
関連科目			
思想史, 米文学特論 II			
総合評価			【総合評価】 点
達成目標の(1)~(4)について、発表(50%)およびレポート(50%)で評価する。また、授業態度により評価点からその20%を上限として減点し、これを総合評価とする。総合評価が60点以上を合格とする。			